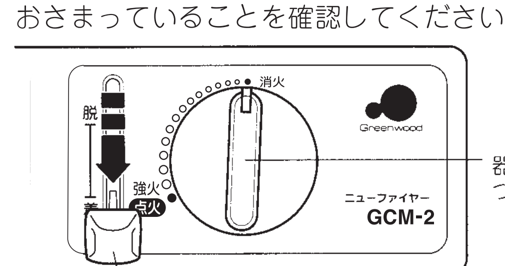
⚠ 警　告

容器（ボンベ）は切込み（容器ガイド凹部）を上にして正しくセットして使用する。

間違った使い方はガス漏れ、火災の原因となります。

4. 容器セットレバーを「着」のところまで押し下げます。この際、容器ガイドが容器受ガイドにおさまっていることを確認してください。

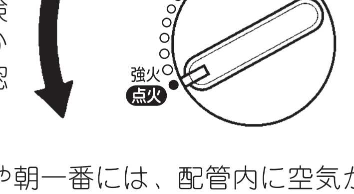


5. 容器カバーを閉める。

〈容器（ボンベ）の取りかえについて〉
長時間ご使用の時など、容器(ボンベ)が冷えてきた場合は火力が弱くなってきますが故障ではありません。
この場合は、一時的に別の容器をご使用になるか、しばらく室温で放置すれば元の火力に戻ります。（ボンベはガスがなくなるまで使用できます。）

操作のしかた

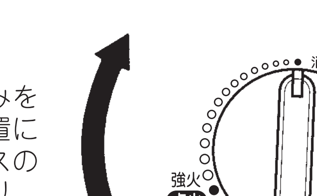
1. 点火
器具せんつまみを「点火」の方向にゆっくりと回し点火します。圧電点火装置がカチッと音がするまで回して着火を確かめてください。
１度でつかない場合は、再度くりかえしてください。点火しないまま、器具せんつまみを回し、点火の位置にしたままにしておくと生ガスがでて危険です。点火したかどうかを必ず確認してください。



※使い始めのときや朝一番には、配管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。その場合は、注意しながら数回点火操作を繰り返してください。
※点火したとき、炎がバーナーから離れて燃焼していることがありますが、これは故障ではありません。外気温の高いときや新しい容器（ボンベ）を使用したときに起こります。２～３分使用すると、炎が安定しますので、安定するまで少し器具栓つまみを絞ってご使用ください。

2. 火力調節
器具せんつまみを「強火」の方向へまわすと火力が強くなり、「消火」の方向にゆっくり回すと弱くなります。弱火で使用されるときは、特に風に注意してください。

3. 消火
器具せんつまみを「消火」の位置にもどすと、ガスのでるのがとまり、火が消えます。



4. 容器（ボンベ）の取りはずしと保存
器具せんつまみを「消火」の位置に合わせてから、容器セットレバーを「脱」に押しあげてください。使用後は、その都度、必ず容器(ボンベ)を取り出し、容器キャップをかぶせてから、40℃以下となるところに保存してください。ストーブ、こたつなど、他の熱源の近くに絶対におかないでください。又、使用済みの容器（ボンベ）は火中に投げ入れないでください。
容器（ボンベ）を取り外した後も、こんろの配管には少量のガスが残っています。危険防止のためもう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

お願い

使用中の煮こぼれなどは、すぐに取り除いてください。
汚れたままにしておくと、テーブルなどを汚したり、傷つけたりする原因となります。
また、器具の故障や、腐食を早めることにもなります。

油が落ちやすいような網は、絶対に使用しないでください。
（魚焼き網、バーベキュー網など）

魚や肉の脂が落ち本体の故障や火災の原因となります。

5. 圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

圧力感知安全装置

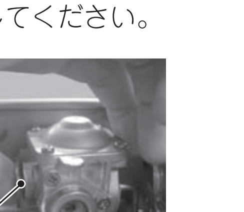
容器カバーの上に鉄板をかぶせての使用・直射日光の強い場所、夏の砂浜の上での使用などにより容器（ボンベ）が過度に熱せられ、容器（ボンベ）内の圧力が異常に高くなると(4kg/cm²～6kg/cm²)、圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えます。

リセットボタン（赤）
安全装置が作動するとこのボタンが約1.5mmとび出します。

処置について

安全装置が作動した場合、器具せんつまみを「消火」にもどし、容器セットレバーを「脱」の位置に押し上げてください。次に容器（ボンベ）が過熱された原因（「2.特に注意していただきたいこと」の「容器（ボンベ）の過熱注意」の項をよく読んでください。）をとり除いてから冷えた容器（ボンベ）をセットし、リセットボタンを押してから再使用してください。

（正常時）



（作動時）
コイン(10円銅貨など)を置いて、その上から強く押す。

6. 日常の点検・お手入れ

●ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
●点検・お手入れは、必ず容器(ボンベ)を取りはずし、器具が充分に冷えてからはじめてください。
●故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

本　　体	●台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をしみこませた布で汚れを充分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属製のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。
バーナーおよびその周辺	●バーナーが目づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴がつまって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。（この時、電極部の位置を動かさないようにしてください）
ごとく・しる受け	●油や汁で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。ご使用後は必ず取りはずし台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をうすめたぬるま湯の中で洗ってください。 ●洗った後は、お湯ですすぎ清潔な乾いたふきんで水分をふきとってください。

長時間使用しない場合

長期間使用しない場合は、上記の表にしたがって手入れをした後、湿気の少ない場所に保存してください。なお、その際容器(ボンベ)は必ずとりはずし、容器キャップをかぶせて40℃以下となる場所に保存してください。特にストーブなど他の熱源のそばには絶対に保存しないでください。

7. 故障・異常の見分け方と処置方法

つぎの表を参考にして、処置してください。

現象 ／ 原因	容器セットレバーが動かない	器具せんつまみを点火にしてもガスが出ない	器具せんつまみを消火にしてもガスが臭う	炎が小さい ※	バーナーに火移りしない	着火しにくい	使用中に火が消えた	処置方法	参照ページ
器具せんつまみが点火になっている	●							器具せんつまみを消火にしてセットする	5
圧力感知安全装置の作動		●				●	●	安全装置についての説明の項を参照する	7
器具せんの不良		●	●	●		●		点検修理を依頼する	
ノズルがつまっている		●		●	●	●		点検修理を依頼する	
他社容器(ボンベ)を使用している	●	●	●	●		●		ニューファイヤー用の容器(ボンベ)を使用する	2
容器(ボンベ)セット不良	●	●	●			●		容器(ボンベ)の表示通り,印を上向きにしてセット	5
バーナー炎口部の目づまり				●	●	●		金属ブラシなどで目づまりを取り除く	7
電極部の汚れ						●		汚れを取り除く	7
圧電点火装置が不良						●		点検修理を依頼する	
ガスがなくなっている		●			●	●	●	新しい容器(ボンベ)に取り替える	5

※室温や容器(ボンベ)の温度が低い場合には、炎が小さくなる事がありますが、器具の異常ではありません。

8. 仕　　　様

製　品　名	ニューファイヤーマルチコンロ
型　式　名	GCM-2
使 用 ガ ス	ブタンガス
使用容器(ボンベ)	ニューファイヤー
ガス消費量	約250g/時（周囲温度20℃）
点 火 方 式	圧電点火方式
安 全 装 置	圧力感知ガス通路遮断方式
外形寸法(幅X奥行X高さ)	376×289×126(mm)
質 量（重量）	約2.6kg

容　器

容　　量	250g
主 原 料	ブタンガス
使用時間	約1時間
容器材質	ブリキ鋼板

9. アフターサービス

●サービス(点検・修理)を依頼される前に
(1) 8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
(2) 確認の上、それでも不具合、あるいはご不明な場合、ご自分で修理なさらないで、お買い上げ店もしくは発売元にご連絡ください。
(3) アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1.機種名　2.型式名(銘板表示のもの)　3.現象(できるだけ詳しく)
※製品の品質管理には、万全を期していますが、万一、容器(ボンベ)が原因でガス漏れの時や製品が故障した時は、お買上げ店、又は弊社迄ご連絡ください。又、不審な点がございましたらお問い合わせください。

故障・修理の際の連絡先　修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、下記へお問い合わせください。

（株）グリーンウッド　お客さま相談室	フリーダイヤル 0120-117-446 受付時間:月曜日～金曜日(土曜・日曜・祝日および当社休日を除く) [AM9:00～PM5:00]

株式会社グリーンウッド　本社 〒675-2462 兵庫県加西市別所町395番地　☎0790(44)2817

販売店様へのお願い　下の保証書に必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

カセットコンロ保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は、再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

型 式 の 呼 び
GCM-2
保証期間
お買上げ日　　　年　　月　　日より
本体は１年間（ただし、消耗品は除く）

お　客　様
ふりがな お名前　　　　　　　　様
〒 ご住所
TEL

取扱販売店
店名・住所・電話番号　　　　　㊞

無料修理規定

1.取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買上げの販売店が無料修理いたします。
ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2.保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参、ご提示の上、お買上げの販売店にご依頼ください。
3.ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にお問い合わせください。
4.ご贈答などで本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社へお問い合わせください。
5.保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買上げ後、落とされた場合などによる故障・損傷。
(ハ) 火災・公害および地震・風水害その他天災地変などによる故障・損傷。
(ニ) 一般家庭用以外（業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載など）に使用された場合の故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
(ト) 消耗部品の交換。
6.本書は日本国内においてのみ有効です。
7.本書は再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきまして、おわかりにならない場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について、くわしくはアフターサービスの項をご覧ください。

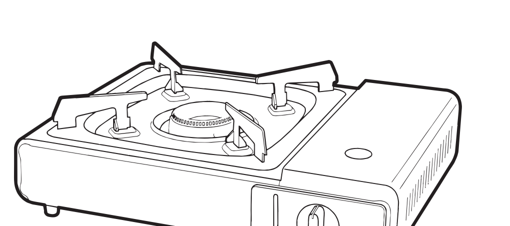
株式会社グリーンウッド

修理メモ

株式会社グリーンウッド　本社　〒675-2462 兵庫県加西市別所町395番地　☎0790(44)2817

606

NEW FIRE マルチコンロ GCM-2 取扱説明書



ニューファイヤーマルチコンロ GCM-2をお買い上げくださいましてありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあと必ず保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

目　　次

１．ご使用のまえに ……… 1
２．特に注意していただきたいこと ……… 1
　１.使用容器（ボンベ）とその取扱いについて ……… 1
　２.火災予防 ……… 3
　３.使用場所 ……… 4
　４.使用上の注意 ……… 4
３．各部のなまえ ……… 5
４．ご使用方法 ……… 5
５．圧力感知安全装置が作動したときの処置方法 ……… 7
６．日常の点検・お手入れ ……… 7
７．故障・異常の見分け方と処置方法 ……… 8
８．仕　　様 ……… 8
９．アフターサービス ……… 8
保　証　書 ……… 9

1. ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性があるもの

絵表示の意味

- △記号は危険･警告･注意を促す内容です。
- ⃠記号は禁止内容です。
- ●記号は指示内容です。

絵表示例

- 一般的な注意
- 火気厳禁
- 一般的な禁止
- 必ず行う

2. 特に注意していただきたいこと

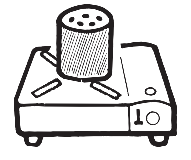
1. 使用容器(ボンベ)とその取扱いについて

⚠ 警　告

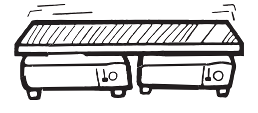
容器(ボンベ)の過熱注意

次のような使い方はしない。容器(ボンベ)が過熱し爆発の原因となります。

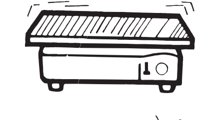
●炭や練炭の火起こしなど炭をのせての使用



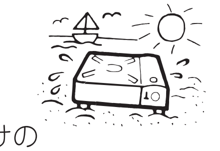
●こんろを2台以上ならべての使用



●容器カバーをおおうような大きな鉄板や大きななべ。ジンギスカンなべ、たこやき鉄板や魚焼器などの使用



●夏の砂浜など日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所での使用



●アルミホイルなどでしる受けの周囲や上部をおおうような特殊な使用
●焼き網をアルミホイルなどで覆っての使用
●食材をアルミホイルなどで包んでの調理
●電磁(IH)調理器･電熱器など熱を発生する器具の上での使用
●その他、容器(ボンベ)が過熱するような行為

熱気のあたる所に注意

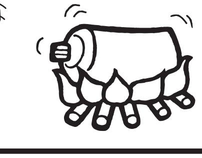
容器(ボンベ)はファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しない。

熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

使用容器の取扱い

容器(ボンベ)を火の中に入れない。

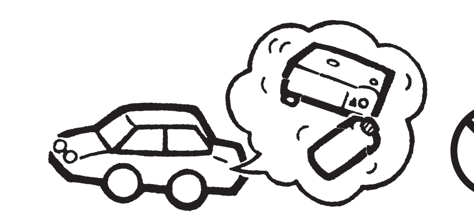
過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。



容器の保管場所

容器(ボンベ)は涼しい場所に保管する。

（器具の使用後は容器(ボンベ)を取り外してください。）
火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。
器具内に容器(ボンベ)を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。

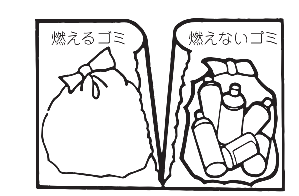


使用済み容器の処理

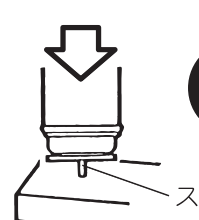
容器(ボンベ)はガスをなくしてから廃棄する。

1.容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、ゴミに混入すると危険です。

2.完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって廃棄してください。



3.ガスがまだ残っている時は、お湯を沸かすなどで使い切るか、火の気のない風通しの良い所でステム(先端)を押しつけて、残りのガスを抜いてください。



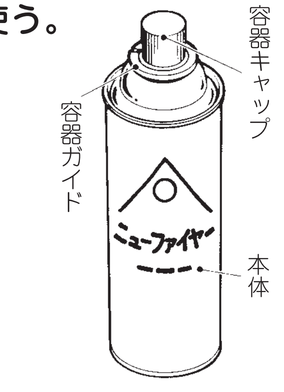
ステム

⚠ 注　意

使用容器の形式について

専用の容器(ボンベ)を使う。

容器(ボンベ)は、ニューファイヤーの表示のある専用容器を使用してください。
他の容器を使用すると、ガス漏れなどの原因となります。



人体に使用しない

ガスを故意に吸い込まない。

酸欠の原因となります。

使用容器の取扱いについて

強い衝撃を与えない。

ガスもれ、爆発の危険があります。

お願い

容器の表示について

容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

保管容器の点検

容器(ボンベ)はときどき点検して、表面にさびが発生している時は、できるだけ早く使い切ってください。

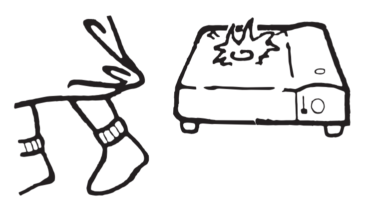
2. 火災予防

⚠ 警　告

防火上の注意

使用中は器具から離れない。

火をつけたまま外出したり、眠り込んだりしないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。特に油気のあるものを料理している時は危険です。



使用中、近くに容器(ボンベ)やスプレー缶を置かない。（特に予備の燃料容器やヘアスプレーなど）

熱で容器内の圧力が上がり爆発の原因となります。

ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しない。

火が燃え移ることがあり危険です。

ガス事故防止のために

容器(ボンベ)がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険です。

充分にご注意ください。

腐った玉ねぎのようなにおいがしたら、ガス漏れ！電気器具に触れずに、すぐに次の処置をする。

①使用をやめ、（つまみを消火にする）
②容器(ボンベ)をはずし、
③窓や戸を開けてガスを外に出す

火気や火花で引火します。電気器具（換気扇など）の入･切や電源プラグの抜き差しはしないでください。また、周辺の電話も使用しないでまず上記の処置を行なってください。ガスは比重が重く、下部にたまりますから完全に換気ができるまでは火気は厳禁です。

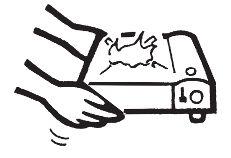
⚠ 注　意

次のような場所では使用しない

●カーテンなどが触れそうな場所
●燃えやすい物のそば
●物が落ちるおそれがある場所
●新聞紙や段ボールなど燃えやすい物の上
●たたみやじゅうたん、ビニールクロスなど熱に弱い物の上
●熱に弱いガラスや樹脂製のテーブルの上
●無煙ロースターなど排気する設備の近く。

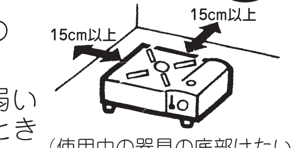
火のついたままの持ち運びをしない。

●転倒するとやけどや火災の原因となります。



家具や壁など可燃物から15cm以上離して使用する。

●壁などが熱せられ低温火災のおそれがあります。
●塗装､うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上でご使用のときは不燃性の断熱材を器具の下に敷いてください。



（使用中の器具の底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください。）

3. 使用場所

⚠ 注　意

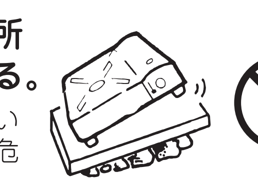
使用場所について

強い風の吹き込む所は避ける。

炎が吹き消されることがあり危険です。

安定した水平な所に置いて使用する。

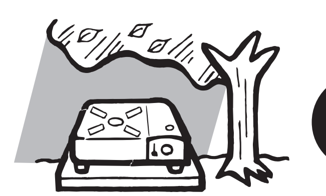
カセットコンロが傾いたり、滑り落ちると危険です。



屋外(アウトドア)で使用する時

・直射日光をさける
・地面の涼しい所で使用する
・板などを敷く

器具の底が砂や小石などで埋まらないように下に板などを敷いて、水平に設置してください。



4. 使用上の注意

⚠ 注　意

用途について

1.調理以外の用途には使用しない。

過熱・異常燃焼により焼損、火災などの危険があります。

2.衣類の乾燥などに使用しない。

衣類が落下して火がつき火災などの危険があります。

使える器具(本体より小さいもの)	使えない器具
• 焼肉プレート • たこやき器 • 魚焼器 • ジンギスカン鍋 • 土鍋（～10号） ※使用出来る鍋の大きさは、鍋底が直径15cm以上、26cm未満のものを目安としてご使用ください。	• ごとくに安定しないような底の小さな鍋･やかんは使用しないで下さい。 • 本体からはみ出すような大きなもの • 左記にアルミホイルを巻いての使用 （アルミホイルを巻くことにより熱が反射され､高温になり危険です。） • 油が落ちやすいような網 • セラミック付き焼網､石綿付き焼網

やけどに注意

使用中や使用後しばらくは手を触れない。

器具があつくなっていて、やけどのおそれがありますので､手を触れたり移動させないでください。とくにお子さまにご注意ください。

ヒートパネル付きの器具の場合､使用中や使用後しばらくは容器が熱くなる場合がありますが､異常ではありません。

補助具について

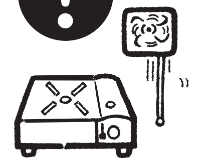
補助具は指定のもの以外は使用しない。

本体以外に風防やなべを受ける器具､特殊な鉄板など応用機器の使用はしないでください。

換気に注意

換気(給気､排気)が充分できる所で使用する。

使用中はときどき窓をあけるか、換気扇を回して部屋の空気を入れ換えてください。
しめきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



異常時の処理

万一異常燃焼したときや､緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし､容器セットレバーを「脱」にして容器（ボンベ）を取りはずしてください。「故障・異常の見分け方と処置方法」(8ページ)を参照し、処置してください。

お願い

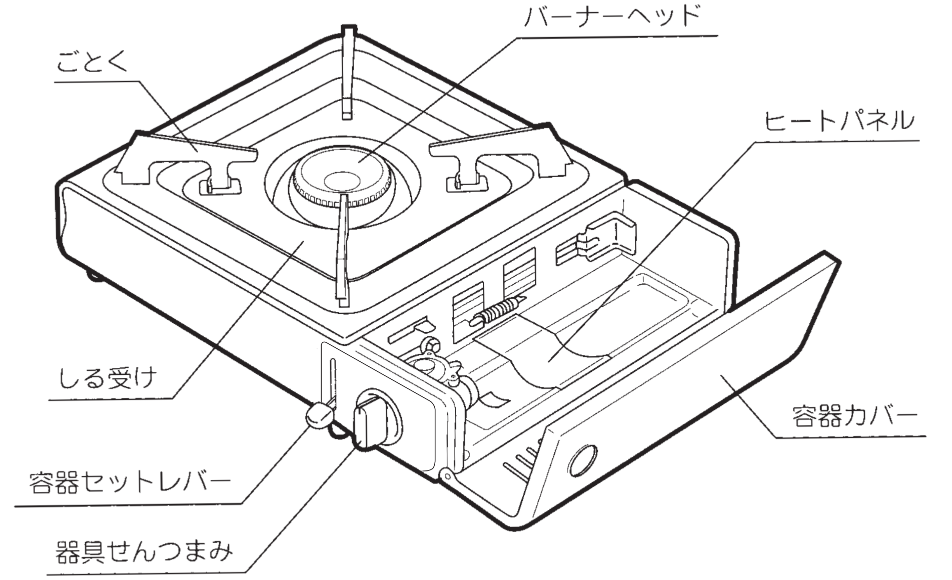
使用時の確認

点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。

万一容器（ボンベ）が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えてしまいますので次のような処置をしてください。

(1) 調理している鍋などをおろしてください。
(2) 器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器セットレバー「脱」の位置に押し上げて、容器（ボンベ）を取り出してください。
(3) 容器（ボンベ）の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。
容器（ボンベ）の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。容器（ボンベ）は必ず冷やすか、別の容器（ボンベ）を使用してください。
(4) 容器(ボンベ)をセットしてから､リセットボタンを強く押して解除してください。(7ページ)

3. 各部のなまえ

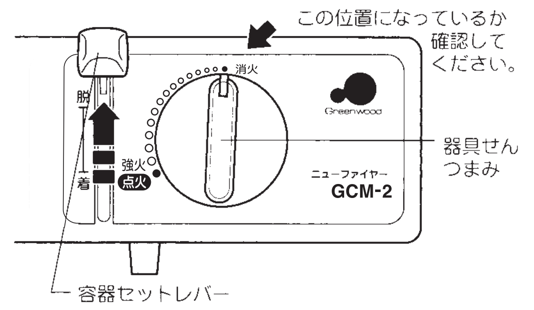


4. ご使用方法

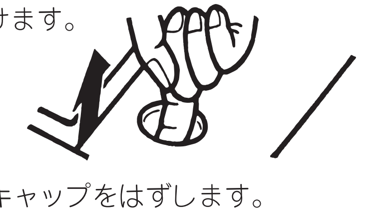
ご使用の際には、しる受けはごとくが上になるように取り付けてください。

容器(ボンベ)の取りつけかた

1. 器具せんつまみを「消火」にあわせます。次に容器セットレバーを「脱」にあわせます。器具せんつまみが「点火」の位置にあるときは、容器(ボンベ)がセットできない機構になっていますので、ご注意ください。



2. 容器カバーを開けます。



3. 容器（ボンベ）のキャップをはずします。
容器（ボンベ）のステム先端に異物の付着がないことを確認のうえ、容器（ボンベ）の表示（⬅この切込みを必ず上にし、容器受ガイド凸に合わせてセットしてください。）の指示どおりセットしてください。
切込み（容器ガイド凹部）を必ず上にして､こんろの容器受ガイド（凸部）におさまるよう軽くおとしこんでください。